

令和8年9月4日

お知らせ

学校	岡山県立高梁城南高等学校
担当者	教 頭 妹尾 健太郎
連絡先	TEL 0866-22-2237 FAX 0866-22-0590

高梁城南高校の教員6名が成羽美術館で作品を発表

初日9月12日(土)にオープニングイベント(4つの催し)を実施

第24回おかやま県民文化祭共催事業

「わたしたちのしごと ボクたちのいきかた

—高梁城南高校に勤める6名が描く 教師としての私と、表現者としての僕」

この度、高梁市成羽美術館において、岡山県立高梁城南高等学校に勤務する教員6名による展覧会「わたしたちのしごと ボクたちのいきかた」が開催されます。絵画、彫刻、現代美術、陶芸、プロダクトデザインなど、分野の異なる6名が、教える仕事を続けながら制作した作品を展示します。

初日の9月12日(土)は、オープニングイベント(テープカット等)、出展教員によるギャラリートーク、高梁城南高校デザイン科の生徒による作品ガイド、教員によるワークショップの4つの催しを予定しており、出展教員と生徒の双方を一日で取材いただけます。

つきましては、事前の報道、また初日9月12日(土)を中心とした取材・報道をよろしくお願い申し上げます。

【取材のポイント】

■ 初日に4つの催しが集中 — 9月12日(土)は13:00からオープニングイベント(テープカット等)、13:30からギャラリートーク(1時間程度)を実施。あわせて生徒による作品ガイド、教員によるワークショップも行われます。

■ 教える人が、つくる人でもある — 県立高校に勤務する教員6名が、絵画・彫刻・現代美術・陶芸・プロダクトデザインの作品を発表します。

■ 生徒が、先生の作品をガイドする — デザイン科の生徒が来館者に展示の鑑賞ガイドを行い、教わる側と教える側の関係が入れ替わります。

■ 専門高校の教員が、実践者として発信 — 電気科・デザイン科・環境科学科を置く専門高校の教員自身が、制作を続ける実践者です。本展のチラシ・ポスターも同校教員が制作しました。

記

- 1 名 称 第24回おかやま県民文化祭共催事業
「わたしたちのしごと ボクたちのいきかた—高梁城南高校に勤める6名が描く 教師としての私と、表現者としての僕」
- 2 会 期 令和8年9月12日(土)～10月24日(土) 9:30～17:00(入館は16:30まで)
休館日／毎週月曜日(祝休日は開館し翌火曜日休館。ただし9/21・22・23は開館し翌木曜日休館)

- 3 会 場 高梁市成羽美術館 1階 多目的展示室、静水の庭ホール（高梁市成羽町下原 1068-3）
※1階 ミュージアムショップ入口よりお入りください。
- 4 入 館 料 無料（静水の庭ホールを鑑賞の場合は、星野道夫展鑑賞チケットが必要）
- 5 主 催 高梁市成羽美術館
- 6 共 催 岡山県、おかやま県民文化祭実行委員会、（公社）岡山県文化連盟、岡山県立高梁城南高等学校
- 7 出展者 岡山県立高梁城南高等学校に勤める教員6名
安藤 昌也（プロダクトデザイン）／大間 光記（彫刻）／河原 英利（彫刻）
小林 弘幸（現代美術）／平井 はな（陶芸）／横山 瑞歩（絵画）
- 8 初日の催し 令和8年9月12日（土）会期初日 ※取材はこの日がおすすめです
①オープニングイベント（テープカット等） 13:00～
②ギャラリートーク 13:30～（1時間程度）
③高梁城南高校デザイン科の生徒による作品ガイド
④出展教員によるワークショップ
※③④の実施時刻等の詳細は高梁市成羽美術館へお問い合わせください。
- 9 会期中の関連イベント ■アーティストトーク いずれも13:00～
①9/19（土）大間 光記、小林 弘幸 ②10/3（土）安藤 昌也、河原 英利
③10/17（土）クロストーク 小林 弘幸×北條 大直
■高校生による作品紹介 9/26（土）10:30～ 申込不要
デザイン科の生徒が、生徒の目線で来館者に展示の鑑賞ガイドを行います。
参加費無料（別途入館料／一般 1,300 円、高大生 800 円、小中生 600 円）
■ワークショップ「先生と『オリジナルトートバッグ』を作ろう！」講師／平井 はな、横山 瑞歩
10/10（土）①10:30ー ②13:00ー 会場／美術館1階 レクチャールーム
各回先着 15 名（要事前申込）、参加費 1,500 円、対象／小学生以上
申込は9月1日（火）9:30より専用申込フォームで受付（美術館 HP「お知らせ」に掲載）
- 10 問合せ先 【展覧会について】高梁市成羽美術館 TEL 0866-42-4455／FAX 0866-42-4451
〒716-0111 岡山県高梁市成羽町下原 1068-3
【学校・出展教員について】岡山県立高梁城南高等学校 TEL 0866-22-2237／FAX 0866-22-0590
〒716-0043 岡山県高梁市原田北町 1216-1

【参考】展覧会チラシ（表・裏）



2026年9月12日(土) - 10月24日(土)

休 館 日： 毎週月曜日（祝日は開館し翌火曜日休館。ただし、9/21・22・23は開館し翌水曜日休館）
開館時間： 9:30～17:00（入館は16:30まで）
会 場： 高梁市成羽美術館（1 階多目的展示室、静水の間（ホール））
観 覧 料： 無料。ただし、静水のホールを鑑賞の場合、同時開催の星野道夫展覧チケットが必要（一般・シニア1,300円、高大生600円、小中生600円）
主 催： 高梁市成羽美術館
共 催： 岡山県、おかやま県民文化振興実行委員会、(公)岡山県文化振興、岡山県立高梁城南高等学校

岡山県立高梁城南高等学校
高梁市成羽美術館
NARIWA MUSEUM
〒716-0111 岡山県高梁市成羽町下瀬 1066-3
TEL: 0866-42-4455 FAX: 0866-42-4451 <https://nariwa-museum.jp/>

チラシ（表）

※チラシ・ポスターは岡山県立高梁城南高等学校の教員が制作しました。

第24回おかやま県民文化祭共催事業

わたしたちのしごと ボクたちのいきかた

— 高梁城南高校に勤める6名が描く

教師としての私と、表現者としての僕

私立高校で日々教育に勤むる6名の教師による展覧会「わたしたちのしごと、ボクたちのいきかた」。日々の教室での営みと、制作に向き合う時間は、明確に分けられるものではない。ゆるやかなグラデーションのなかで繋がっています。生徒と交わる言葉や、積み重ねられていく経験。そのまますべてが作品として表れるわけではありません。しかし、日々の中で生まれる発見や思考の揺らぎは、時間をかけて作家自身の感覚に染み込み、作品として形づくられていきます。本館では、絵画、彫刻、現代アート、写真、グラフィックデザインなど、多様な表現を通して、その営みの一端を垣見します。数えることと表現すること、その両方に向き合い続けるなかで生まれる作品の一端は、それぞれの視点や感覚、社会との距離感が静かに聞かれています。「しごと」と「いきかた」が重なり合う場所から立ち上がる表現を、それぞれの視点で感じ取っていただければ幸いです。

Featured Artists — 出展アーティスト



安部 昌也 ANDO Masaya

1962年秋生まれ。
岡山大学理学部卒業。
2年間の中野美術院ののち、岡山県立高梁市成羽高等学校でデザイン科教員として勤務。岡山県立高梁市成羽高等学校の教員として美術科を教える。高梁市成羽高等学校で教える。高梁市成羽高等学校で教える。



大岡 光弘 OKA Masahito

1980年愛媛生まれ。
岡山大学教育学部卒業。
石巻市立中央高等学校教員。身体を通して表現を続ける。人と人との関係や表現としての表現の中に生まれる経験、表現の経験。その「表現」に込められる思いや思いの表現を続けている。岡山県立高梁市成羽高等学校で教える。



河原 寛利 KAYAHARA Hiroshi

1960年岡山生まれ。
岡山大学理学部卒業。
入塾後を中心に「しごと」として表現を続ける。日々作品を発表。岡山県立高梁市成羽高等学校で教える。



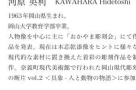
小林 弘幸 KORYASHI Hirotsuki

1987年岡山生まれ。
岡山県立高梁市成羽高等学校卒業。
「記憶の記録」や「静水と表現」などをテーマに表現活動や学校生活。表現者としての表現を続けている。岡山県立高梁市成羽高等学校で教える。



平井 はな HIRAI Hana

1989年岡山生まれ。
岡山県立高梁市成羽高等学校卒業。
岡山県立高梁市成羽高等学校で教える。岡山県立高梁市成羽高等学校で教える。



岡山 瑞歩 YOKOYAMA Masahito

1993年岡山生まれ。
岡山大学教育学部卒業。
古代から存在する生き物に魅力を感じ、女性3組の創作や学校生活。表現者としての表現を続けている。岡山県立高梁市成羽高等学校で教える。

Events — 関連イベント

◆アーティストトーク

※来賓：河原 寛利

9月19日(土) 13:00—

安部 昌也、河原 寛利

10月3日(土) 13:00—

小林 弘幸、大岡 光弘

10月17日(土) 13:00—

河原 寛利、河原 寛利

※1Fエントランスのモニターから配信いたします

◆高校生による作品紹介

高梁城南高等学校の生徒による作品紹介を行います。芸術家としての表現や、日々の生活や学校生活、表現者としての表現を紹介します。

9月26日(土) 10:30—

河原 寛利、河原 寛利

※1Fエントランスのモニターから配信いたします

◆ワークショップ

高梁城南高等学校の生徒によるワークショップを行います。

「オリジナルノート」づくり

10月10日(土) ①10:30—

②13:00—

河原 寛利、河原 寛利

料金：小学生以上 参加費無料 15名

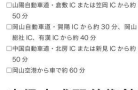
料金：1,500円

※1Fエントランスのモニターから配信いたします

Access — アクセス



岡山県立高梁城南高等学校
〒716-0111 岡山県高梁市成羽町下瀬 1066-3
TEL: 0866-42-4455 FAX: 0866-42-4451
<https://nariwa-museum.jp/>



岡山県立高梁城南高等学校

〒716-0111 岡山県高梁市成羽町下瀬 1066-3
TEL: 0866-42-4455 FAX: 0866-42-4451
<https://www.gion-shi-nagaoka.jp/>



星野 道夫
落穴の時を渡る

「星野道夫先生展」の開催に合わせ、岡山県立高梁市成羽高等学校の教員が制作しました。

高梁城南高校の情報は、本校HPと Instagram をご覧ください！



高梁城南高校 HP



高梁城南高校 Instagram